

機敏に柔軟に  
質の高い  
医療を提供

秋田県立  
病院機構

秋田県立  
脳血管研究  
センター

秋田県立  
リハビリテーション・  
精神医療センター



交通の  
ご案内

●飛行機

東京(羽田)	←約60分→	秋田
札幌(千歳)	←約55分→	秋田
名古屋(中部)	←約85分→	秋田
大阪(伊丹)	←約85分→	秋田

●新幹線

JR東京駅よりJR秋田駅まで約4時間  
JR東京駅よりJR大曲駅まで約3時間30分

## 秋田県立病院機構(本部事務局)

Akita Prefectural Hospital Organization

〒010-0874 秋田県秋田市千秋久保田町6番10号(秋田県立脳血管研究センター内2F)  
TEL.018-833-0115 FAX.018-834-3733  
<http://www.akita-hos.or.jp/>



## 秋田県立脳血管研究センター

Research Institute for Brain and Blood Vessels-Akita

〒010-0874 秋田県秋田市千秋久保田町6番10号  
TEL.018-833-0115 FAX.018-833-2104  
<http://www.akita-hos.or.jp/>



交通のご案内

●自動車利用

秋田中央ICより約15分

●JR利用

JR秋田駅から徒歩約7分

●飛行機利用

秋田空港より秋田駅西口まで  
リムジンバスで約40分



## 秋田県立リハビリテーション・精神医療センター

Akita Prefectural Center for Rehabilitation and Psychiatric Medicine

〒019-2413 秋田県大仙市協和上淀川字五百刈田352  
TEL.018-892-3751 FAX.018-892-3759  
<http://www.akita-rehacen.jp/>



交通のご案内

●自動車利用

協和ICより約3分、JR羽後境駅より約5分、  
秋田空港より約30分、JR秋田駅より約45分

●JR利用

[JR奥羽本線羽後境駅下車]  
JR秋田駅よりJR羽後境駅まで約25分  
JR大曲駅よりJR羽後境駅まで約25分

●バス利用

[羽後交通境営業所乗車、リハセン前下車]  
(または坊台下車 徒歩約5分)

羽後交通境営業所より  
新田行または下川口行で約10分

※羽後境駅と羽後交通境営業所間は徒歩約3分です。  
※帰りは羽後交通境営業所行にお乗りください。



Akita Prefectural Hospital Organization

県民の健康を守る  
スピーディーで柔軟な医療システム

# 地方独立行政法人 秋田県立病院機構



# その専門医療を統合する 秋田県立病院機構

地方独立  
行政法人



Greeting from President

## 秋田県民の健康を支える 病院機構として 進化し続けます

地方独立行政法人  
秋田県立病院機構 理事長 **鈴木明文**

1968年12月開設の秋田県立脳血管研究センター（脳研センター）と1997年4月開設の秋田県立リハビリテーション・精神医療センター（リハセン）が、「県立」から「地方独立行政法人秋田県立病院機構」のセンターとして再出発したのが2009年4月でした。県知事は5年を1期として秋田県立病院機構（病院機構）へ目標（中期目標）を示します。病院機構はその目標を達成するため計画（中期計画）を作成し、毎年成果の評価を受けながら業務を行っています。2014年3月で第1期目の5年間の終了し、4月から第2期目に入りました。

研究部門をもつ脳研センターは「脳卒中撲滅」という県民の強い願いに応え、脳卒中の病態解明と治療法確立に全力を注いできました。現在では、脳卒中のみならず脳・循環器疾患の専門病院として最新・最良の医療を提供し、研究機関として国内外の学会で活動しています。さらに、災害医療にも力を注ぎ、災害拠点病院にも指定されています。第1期目の5年間には組織の改編、職員の増員、電子カルテの導入、ヘリポートの設置、医療機器の更新や増設など、組織・人・設備の強化を行いました。脳卒中予防については県内医療機関と共同で研究を開始しました。

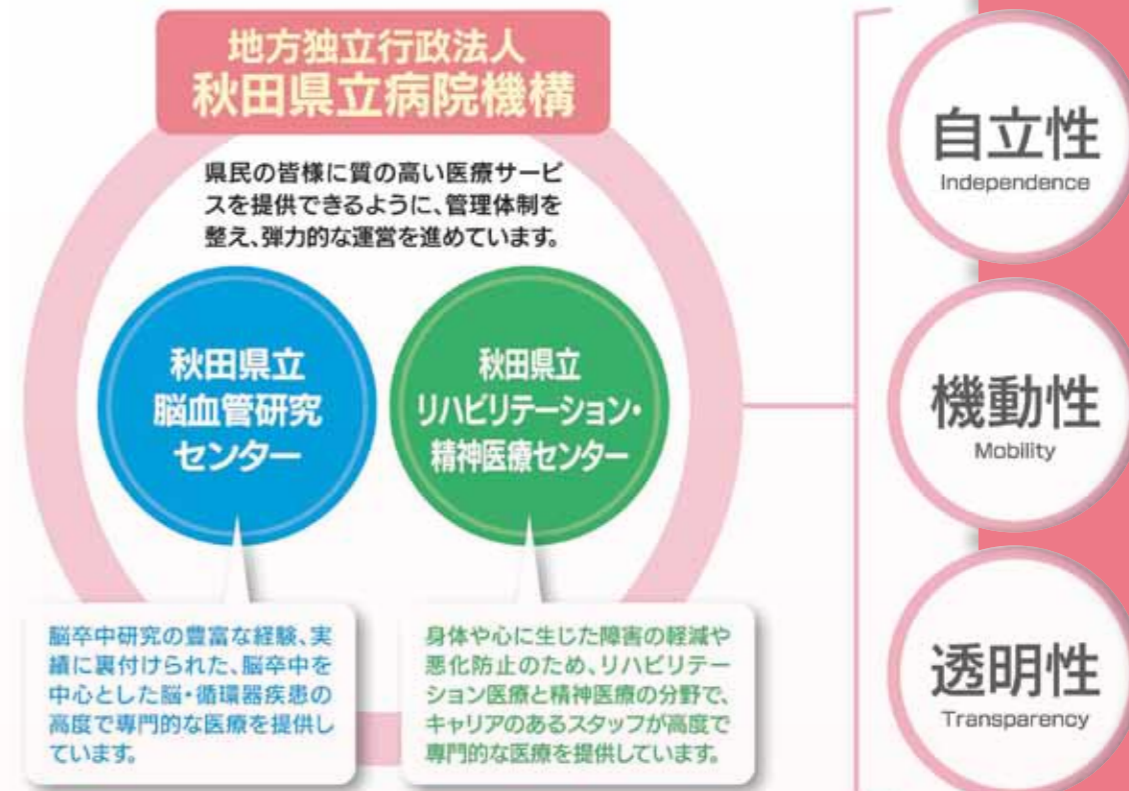
リハセンは脳卒中後遺症などで生じる身体障害やさま

ざまな原因で生じる精神障害から回復・改善し家庭や社会に復帰したいという県民の強い願いに応え、リハビリテーション科と神経・精神科が強く連携して最新・最良の医療を提供してきました。第1期目の5年間には県の事業として初年度の2009年4月に秋田県高次脳機能障害相談・支援センターが開設、最終年度の2013年10月に秋田県認知症疾患医療センターが開設されました。従来からのリハビリテーション医療、精神医療に加え、認知症に対応する診療体制の整備を進めました。災害医療については東日本大震災の被災地で心のケアに従事しました。

それぞれが専門性の高いセンターであり、地理的にも離れていますが、医師が相互に出張し外来診療などを行い、リハビリテーション療法士が協同して指導や研修を行うなど、両センターの実質的な連携が始まっています。2014年4月からは病院機構の中核として運営本部を設置し小職が運営本部長を務め、両センターの連携を一層強化してまいります。

秋田県の政策医療を担い県民の健康を支える病院機構として、脳・循環器疾患、精神疾患、認知症疾患から県民を守るため、1期目に蓄えた実力をもとに第2期目の中期目標達成に全力を注いでまいります。

機敏に柔軟に  
質の高い医療を提供



### 理念

秋田県立病院機構は、脳・循環器疾患、精神疾患を中心とした医療・医学の進歩に貢献し、その成果を取り入れた質の高い医療を提供することによって、皆さまの健康を守ります。

### 基本方針

- 365日、24時間体制で脳卒中・神経疾患、精神疾患の救急医療を提供します
- 急性期医療を中心として高度・先進的医療を提供します
- 機能回復を進めるリハビリテーション医療を提供します
- 脳卒中や認知症の予防に向けた取り組みをより一層推進します
- 患者の皆さまに快適で安全に療養して頂ける環境を提供し、医療サービスの向上を目指します
- 地域医療機関・介護福祉施設との連携をより一層推進します
- 職種間の連携を図りながら、働きがいのある職場づくりに努め、質の高い医療人を育成します
- 職員一人ひとりが経営感覚を持ち、安定した経営基盤に立った病院運営を目指します

秋田県立病院機構  
ホームページにて  
「中期目標」  
「中期計画」など  
がご覧頂けます。

地方独立行政法人  
秋田県立病院機構  
ホームページ

<http://www.akita-hos.or.jp/>

地方独立行政法人制度の特徴を生かし、  
自立性、機動性、透明性の高い医療機関へ